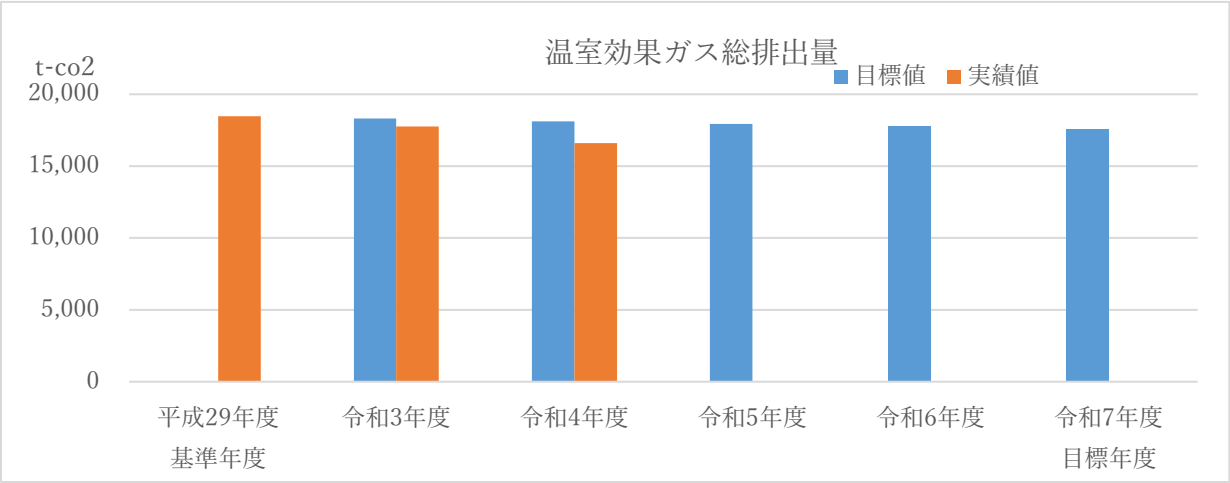
西北五環境整備事務組合地球温暖化対策実行計画　令和４年度点検・評価結果報告

令和５年４月１３日

西北五環境整備事務組合では、「地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「法」という。）に基づき、「地球温暖化対策実行計画」を令和２年度に策定し、組合の事務事業で排出されるＣＯ２（温室効果ガス）の削減に取り組んでいます。

「西北五環境整備事務組合地球温暖化対策実行計画」（R3～R7）」に基づき、令和４年度に実施した当組合の事務事業において、温室効果ガス排出量の点検・評価を行った結果、令和４年度の温室効果ガス排出量は、基準年である平成２９年度実績の18,490 t-CO2に対し、16,592 t-CO2となり、1,898t-CO2の減少となりました。

温室効果ガス総排出量	目標値 (t-CO2)	実績値 (t-CO2)	増減率(%)	平成 29 年度比(%) 目標値-5%
平成29年度	―	18,474	―	―
令和 3年度	18,289	17,764	▲3.8	▲3.8
令和 4年度	18,105	16,592	▲6.6	▲10.2
令和 5年度	17,920			
令和 6年度	17,735			
令和 7年度	17,550			



区　分		平成29年度 (基準年)	令和4年度	増減	増減率(%)
電気	千kwh	5,882	4,664	▲1,218	▲20.1
A重油	ℓ	23,975	11,945	▲12,030	▲50.2
ガソリン	ℓ	1,119	782	▲337	▲30.1
軽油	ℓ	234	535	301	128.6
一般廃棄物中の廃プラスチック焼却	t	5,756	5,408	▲348	▲6.0